

編集後記

■編集委員 (50 音順)

伊熊健一郎
北野正剛

岩崎昭憲
清水一雄

小澤壯治
徳村弘実

北島政樹
東原英二

私は平成 16 年より編集委員を担当することになり、日本内視鏡外科学会雑誌に投稿された論文に興味深く拝読させて頂いています。「原著」、「症例報告」、「手術手技」、「私の工夫」、「短報」などにカテゴリーが分けられ、投稿される先生方のみならず読者の先生方にも、わかりやすく役に立つ雑誌であることを改めて認識いたしました。

投稿される先生方の所属をみると、大学病院は当然ですが、規模の大小は問わず一般病院が多いのに驚かされました。症例数は多くなくても、日常臨床の中で考案した内視鏡外科領域の工夫や手術手技が報告されています。それらの論文はどれも知っている内視鏡外科にとっても役に立つものばかりです。内視鏡外科自体がまだまだ発展途上の学問であるため、一例一例大切に症例を扱う先生方の活動が貴重に感じられます。本雑誌はそうした報告を積極的に採用しているのが特徴で、全国的なレベルでの内視鏡外科の底上げにつながっていると思います。

内視鏡外科は一般消化器外科をはじめとして、呼吸器外科、心臓血管外科、内分泌外科、泌尿器科、産婦人科、整形外科など多くの外科系診療科を包括しています。診療科単位の学術雑誌は多く刊行されていますが、本雑誌では外科系診療科すべてを扱っているのも特徴です。編集委員会でも広い観点から投稿論文が査読、検討され、勉強になる点が多々あります。読者の先生方も本邦における幅の広い最先端の内視鏡外科情報を手に入れることが可能です。

日常臨床ですぐ役に立つ情報を提供するのが、本雑誌の役割の一つでありますので、査読はかなり緊張します。論文として公表されるかもしれない内視鏡下手術の安全性や妥当性などを十分吟味する責任があるからです。編集委員会から投稿された先生にかなり細かい点について検討・修正をお願いすると、困惑される場合もあるようです。通常の学術雑誌に要求される査読の条件に加えて、手術内容に関する詳細な検討条件が本雑誌に課せられています。その甲斐あってどの号をみても立派な内容の有用な論文が満載です。ナルシストになっても仕方がありませんが、内視鏡外科が大好きな一外科医として、本雑誌が質・量ともに充実することを願っています。

(小澤壯治)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 9 巻 第 5 号) 2004 年 10 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%) となります。

2004 年 年ぎめ予約購読料：16,500 円 (税込) (配送料：医学書院負担)

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当：佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2004. Printed in Japan

発 売：(株)医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：蔵田, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意下さい。